DOJIN
R18
成人向け
18歳未満の
購入・閲覧禁止

調教ビアンカIII

ちょうきょう

まいん☆からっと

調教ビーカー

ちょうきょう

まいん☆からっと

何？
チビたちが
起きない？
ちゃんと
起こした
のか？
起こしたわよ！
そんなにあたしが
信用できないなら
自分で見てくれれば
いいでしょ！
信用できないなんて
言ってないだろ…？

何でそんなに
カリカリ
してるんだ？

…別に
カリカリなんて
してないわよ！

そんなに怒るなよ…
僕の言い方が悪かった
…ごめんよ
誰も誤ってなんて
言ってないでしょ
…じゃあ僕がチビたちを
起こしに行ってくるから
ビアンカは先に集合場所へ
行っててくれないか？
いちいちあなたに
言われなくても
そうするから！

調教ビアンカⅢ

サラボナ周辺の集合場所
では解説しますね
まず―あのふたりの症状の原因はウイルスです
ウイルスだって…!?
どうりで全然起きなかったわけだ…
ちなみに…そのウイルスは自然治癒しません
えぇ…?だ…大丈夫なんですか?あの子たち…
特効薬があるので安心してください
それにしても博識のボクがいてよかったですよね
ああ!本当にピピンがいてくれてよかったよ!
なあ?ビアンカ
…ビアンカ?
なんだよ…黙り込んで
まだヘソを曲げてるのか?
べ…別に!

数分まえ―
えっ!? あの子たちが熟睡してたのってピピンのせいなの!?
ええ
アベルさんたちと一か月ほど別行動をとるための作戦です
な…なにが作戦よ!
はやくあの子たちを起こして!
ダメですよそんなことしたら作戦が台無しじゃないですか
だいたい一か月間も何も食べなかったら死んじゃうじゃない!
そんなこと言ってる場合じゃないでしょ!
大丈夫ですって! フローラに特効薬を渡してありますから
ボクらが旅立ってから数日後に起こすように頼んであるんですよ
それよりも… ちゃんと教えたようにやってくださいよ?
……

―以上です
では整理するのに
一度まとめますね

まず特効薬になるのは
幻の激レアモンスター
クリスタルスライム

それを煎じて
飲ませることで
目を覚まします

生息地は北にある
滝の洞窟の周辺か
あるいは東にある
迷いの森ですね

捜索する時間を考慮して
往復するのに一か月は
みておくべきでしょう

そうなってくると
おチビちゃんたちが
食事できない問題が
浮上します

―が それも
ご心配なく！

食事なしで一か月ほど
生命維持できるアイテムを
ボクが持っていますので！

まあ…
いわゆる栄養補給剤と
呼ばれるものですが

注射型なので
対象が寝ていても
有効です

それから…
すでにその栄養補給剤は
全部フローラさんに預けて
おチビちゃんたちの世話を
お願いしてきました

ここまでで
何か質問は
ありますか？

いや…
すごいな…
ピピン

完璧なプラン
だと思うよ

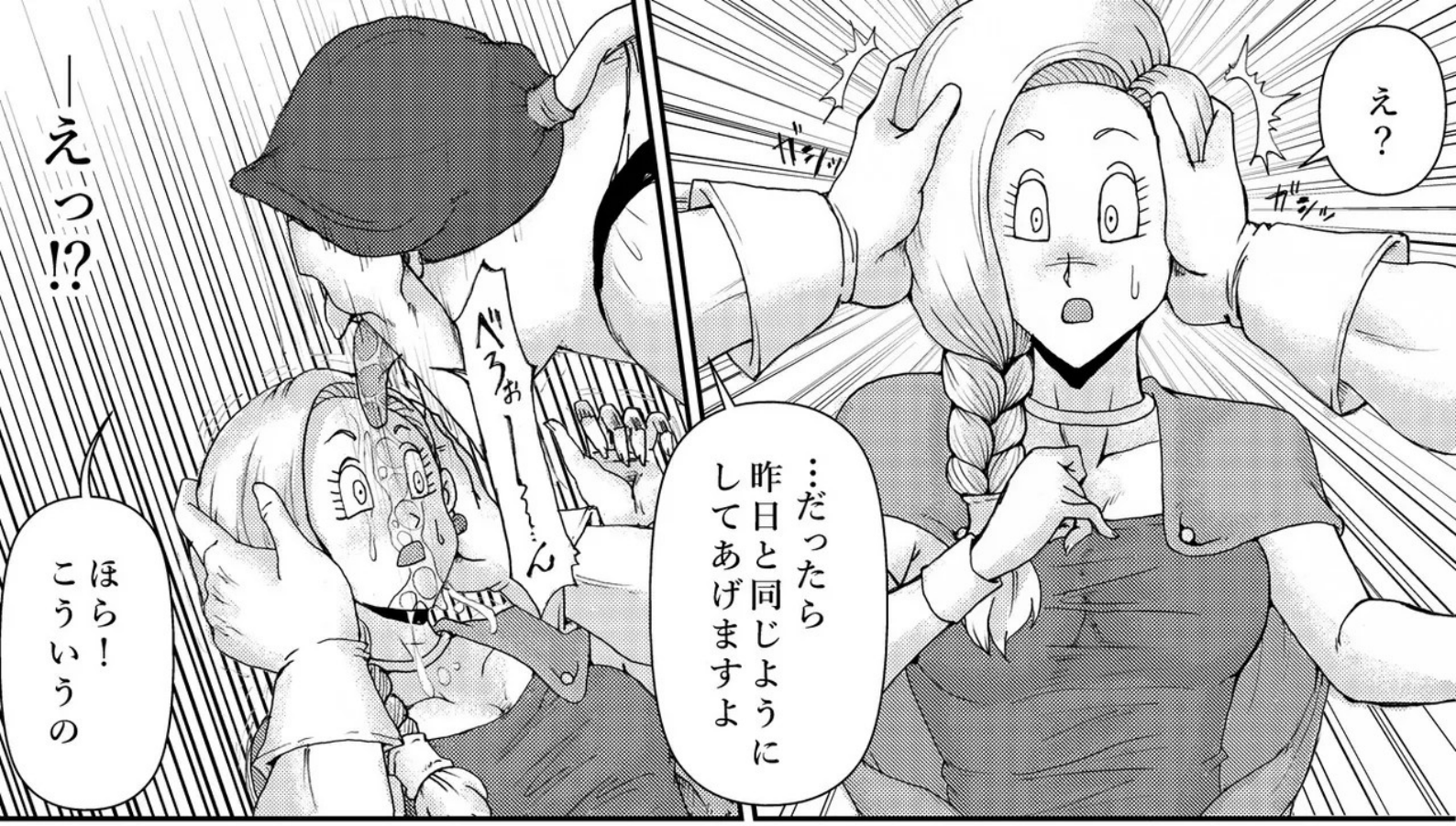
…それではここからは
時間との勝負になるので
2パーティに分かれて
さっそく旅に出ましょう！

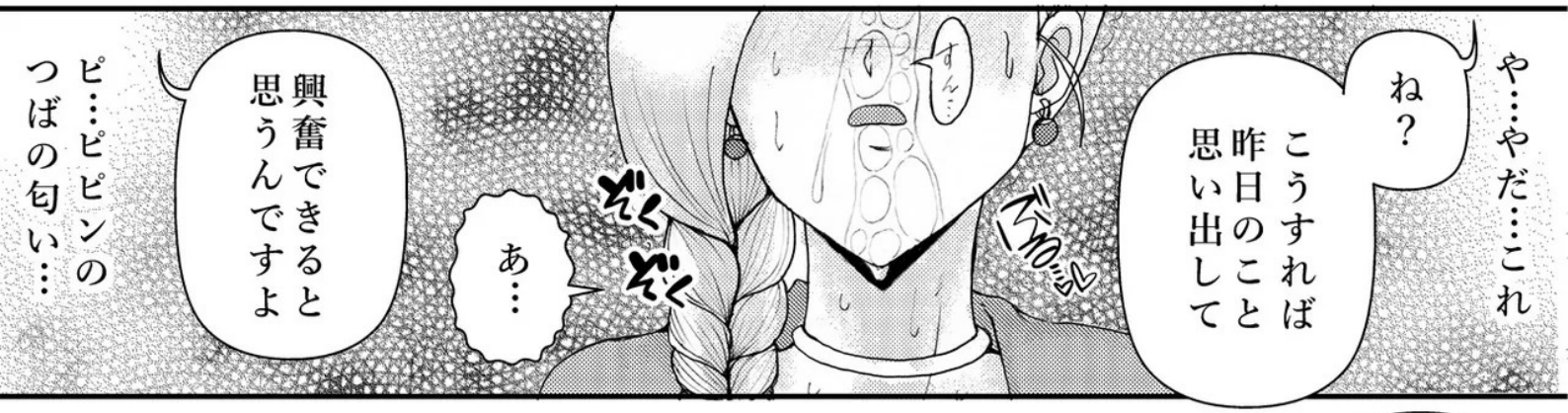
じゃあ僕とビアンカが北へ行くからサンチョとピピンで南
え…？なんで？
それは無理ですね！
どちらかといえばビアンカさんとアベルさんは呪文型ですよね？
一方でボクとサンチョさんは物理型です
物理か呪文どちらかが効かないモンスターと遭遇した場合を考えてパーティを組まないと！
た…たしかに
つまりアベルさんはサンチョさんかボクと組むしかないんですよ
同様にビアンカさんもボクかサンチョさんと組むしかないんですね
どうしますか？希望がある人は言ってください
あ…あの…だったらあたしがピピンと——
私ッッ…坊ちゃんとがいいです！
…え？
サ…サンチョ？

それじゃ僕たちは
北の方へ行くから
ビアンカたちは
南の方を頼むよ
それから…
ビアンカのこと
頼むぞ ピピン
もちろん！
任せておいて
くださいよ！

ふたりとも
気をつけるんだぞ
アベルさんたちも
お気をつけて～♪

ちょッ…と!?
やだ…いきなり
何するのよ!
何って…
アナルの開発に
決まってるじゃ
ないですか?
う…
うそでしょ…!?
こんなところで…
大丈夫ですって!
すぐに慣れちゃい
ますからッ…
やっ…やぁあっ!?
いやぁあああっ…
ほら!
おとなしくして
くださいって!
ビアンカさんだって
昨日は乗り気だった
じゃないですか?
き…昨日は
どうかしていた
のよ!
だいたい…
外でやるなんて
聞いてないし…
それに…
やっぱりあたし
お尻の穴はイヤ!


え？
ガシッ
…だったら
昨日と同じように
してあげますよ
べろぉ～～～ん
ほら！
こういうの
—えっ!?


や…やだ…これ
ね？
こうすれば
昨日のこと
思い出して
ぐるる
すん…
ぞくぞく
あ…
興奮できると
思うんですよ
ピ…ピピンの
つばの匂い…

ビアンカさん
その匂い
好きでしょ？
ほら！もっと
嗅ぎまくって
くださいよ！
や…!?
やッ…だ
ボクの
ツバの匂い

ゾク
やぁあああーっ!?
大丈夫ですって！
すぐ興奮するように
なっちゃいますから！
や…やだぁああ!?
ゴポ
たら〜…
ビクン
ーっ!?
ふふ…あとで
ツバの飲み方も
じっくり教えて
あげますからね
ハァ
ハァ
でもまずは
そのまえに…
その汗臭い肉体…
舐めまわして
いいですか…？
こ…怖いッ…

ちょ…!?
カチャ…
カチャ…
いっ…!?
がばっ
ふふ！まずはこの
汗でべとべとになった
ビアンカさんの肉体ッ…
ばっ
味がなくなるまで
全部ボクが舐めて
あげますからーッ♥
いやぁあああッ!?
べろぉ〜〜〜♥

ちょっと待って…!?
あたし汗びっしょりかいてるから…
別にいいですよ
あ…あたしがよくないのよ！
汗が匂って…そのは…恥ずかしい…
なに言ってるんですか？
汗臭い肉体がエロくていいんじゃないですか
ハア…ハア…
ビアンカさんの汗…
いやらしい匂いだ…
—っ!?
や…やだッ…!?
気持ちわるい！
放してッ…
変態ーッ!?
変態って…
ひどいなぁ
…自分だってもう変態じゃないですか
ぷす
ちゅーー…
…え？
……
ビアンカさんが悪いんですよ？
ボクのことを弄ぶから…

さ…
じっくり舐めて
あげますからね
ビアンカさんの肉体を
ツバだらけにしてから
たっぷり交尾しましょ♪
ペろ…
あ…
カクン♥
ぐいっ
なにコ…レ？
ピピン…
やぁああ…!?
ちゅー♥
ちゅー♥
ちゅぱ♥
ちゅぱ♥
はーっ
はーっ
あたしの
身体に…
何したの…？
何って…ちょっと
おクスリを注射した
だけじゃないですか
大丈夫ですって！
少しエッチな気分に
なるだけですから！
大胆になるための
キッカケだと思えば
問題ないです！
ちゅ…ちゅぱっ
べろべろべろ…
ペろ…
レロレロレロ
ビアンカさんは
ツバの匂い嗅いで
興奮していれば
いいんですよ！
いッ…
や…あ!?

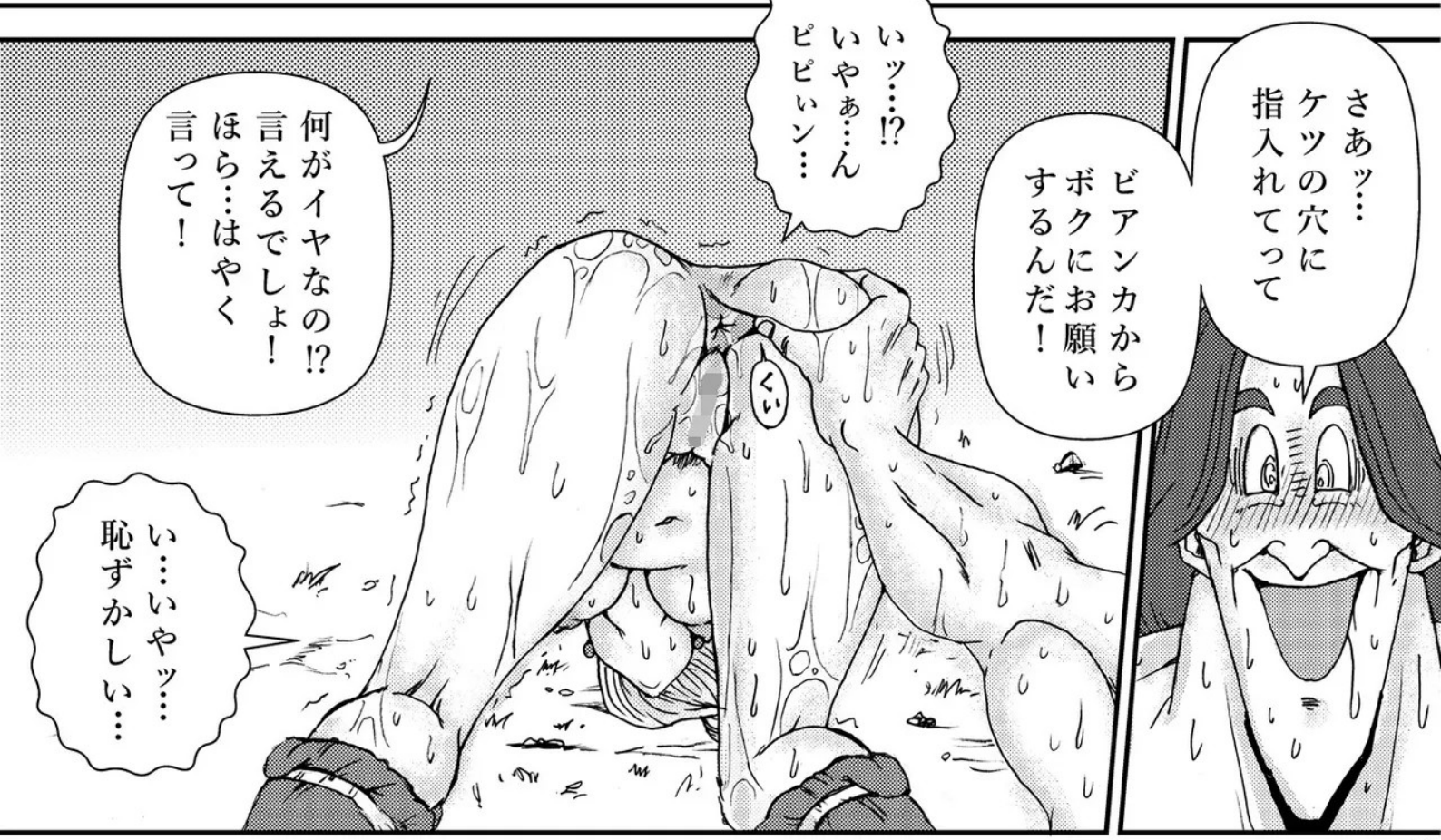
そのころ
アベルたちは―
ねぇ
坊ちゃん
ビアンカ様のこと
心配じゃないですか？
まあ…心配じゃ
ないといえば
ウソになるけど
ピピンがいっしょに
いるんだから
きっと大丈夫だよ
でも…
離ればなれは
寂しいでしょ？
そうでも
ないさ！
こっちには
おまえが
いるからな
サンチョ
ありがたき
しあわせ！
実はさ
今朝ちょっと喧嘩
しちゃって…
だからある意味で
いい機会だったと
思ってるよ
まあ…向こうは
ビアンカとピピンに
任せておいて
僕らは自分たちの
やるべきことに
集中しよう

ふっ…♥
ふっ…♥
ふッん…♥
フフ…
いい感じですよ
ビアンカさん♥
もう身体中が
ツバの匂いだッ…
よぉし！この調子で
今日もまた夫婦に
なっちゃいましょう♪
いッ…!?
やァ…ん
ツバの匂い嗅ぎながら
『イイ匂い♥』とか言って
もっと興奮してみて！
さあ！
ビアンカ♥
ほら！
思い出して！
昨日のことッ
ツバだらけにされた
自分の身体の匂いで
興奮してたでしょ!?
そのうちだんだんと
ヘンな気分になって…
チラ
ニコッ
いつの間にか
ボクのことしか
考えられなく
なっちゃって…♥
あ…あ…
ダメぇえ…!?
オカシク
なっちゃうッ…

どうなの？ねえ！
夫のツバの匂いを
嗅ぎながら交尾！
…興奮しちゃう!?
こ…興奮
しちゃうッ
だったらもうビアンカは
完全にボクのツバ奴隷だ！
…言ってみて！
もうツバ奴隷！
もう…
ツバ奴隷！
ぺろ
フフ…完ぺきだ
さあベロ出してッ
舐めるからッッ…
ぼぉ
は…はい
あなた…
よぉし…
イイ子だ
ぺろ…
ククッ…もう完全に
キマっちゃってる♪
ほらほら～
ビアンカも
舐めてよ～
やっぱり直接
飲ませるより
注射した方が
よく効くな
あぁん…!?
ピピィン…

パン
パン
パン
さあ…中に射精すよ！
ビアンカもいっしょにイクんだ！
愛する夫の精液…
うんといっぱい流し込んであげるから～ッ
びちゃ…
あッはぁあああん!?
ふふいっぱい射精てるよ…ボクの精子ッ…
いッ…や
大丈夫だって！子供ができちゃったらそのときに考えればいいんだからッ…
びゅるびゅるる

それからあたしは
何度もピピンの精液を
子宮に流し込まれた
まるで子作りする
夫婦のような
激しいセックス―
そして
身体中の唾液が
乾き始めた頃
とうとうピピンは
あたしのアナルに
唾液を塗り始め―


さあッ…
ケツの穴に
指入れてって
ビアンカから
ボクにお願い
するんだ！
いッ…!?
いやぁ…ん
ピピぃン…
くぃ
何がイヤなの!?
言えるでしょ！
ほら…はやく
言って！
い…いやッ…
恥ずかしい…

…まだ
そんなこと
言ってるの？
だったら―
ぬ…
言えるようになるまで
夫であるこのボクが
調教でしっかり躾けて
あげなきゃだよね！
んッ…は!?

ほらほら～
力を抜いて～♪
大丈夫だから！
ズブブ…
う…
おぉ…!?
昨日のこと
思い出して
ごらん？
初めてだったのに
親指が奥まで
入れちゃったでしょ
ビアンカには
才能があるから
ボクを信じて！
ズズズ…
ほ～ら…奥まで
ぜんぶ入った♥
ズブ…
あっ…!?
あぁ…あ！
ほ…本当に入っちゃったッ…!?

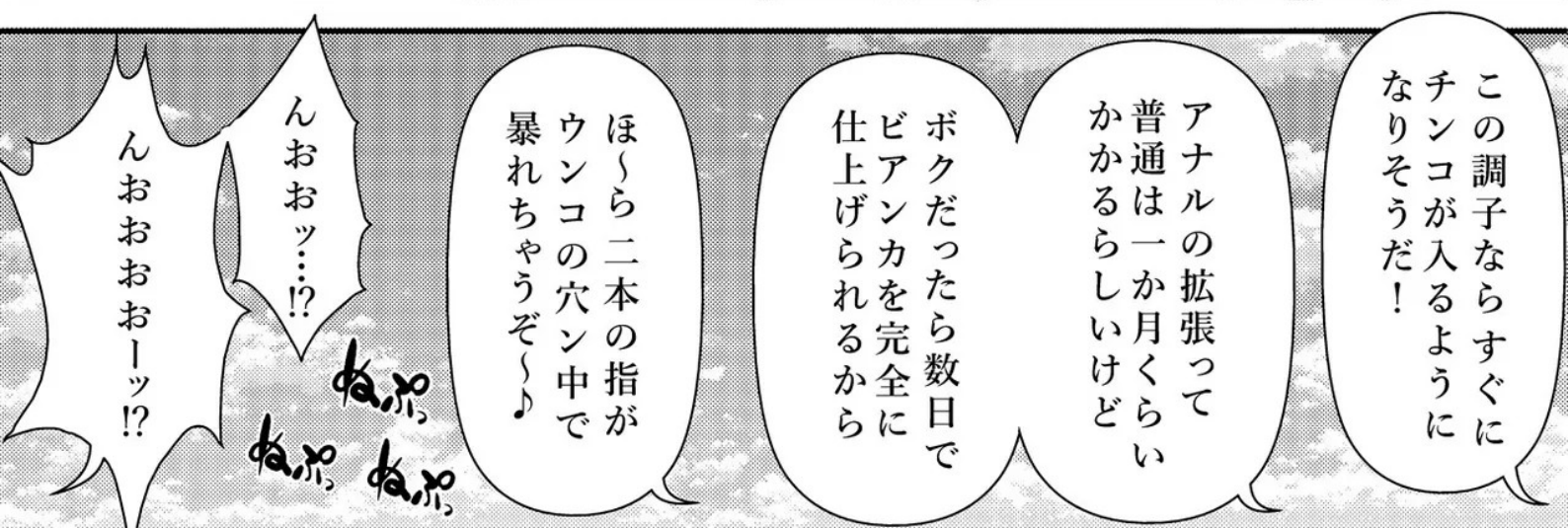
じゃあ今度は
抜くからね～
…ッあ!?
だ…
だッ…めぇ!?
いいからもっと
ケツ穴の快楽に
身を任せて～
ほらほら～
こうやって指を
抜き刺ししても
大丈夫～♪
おぉ…!?
んぉおおっ…!?

～ルドマン邸～
それから
月日は流れて
4日目の朝―
あら？
お父様
なんと!?
ふたりとも
起きたのか!?
ええ 実は昨日
旅の商人から
特効薬を買って
きたんですよ
ピピンさんから
聞いていた薬が
たまたま売って
いたので…
こりゃいかん！
だったらはやく
アベルくんたちに
知らせなければ…
もう手遅れ
ですわ
お父さま
ど…どういう
ことだね…？
フローラ？
わかりますでしょ？
ピピンさんたちが
出発したのは4日前
いまさら
合流する手段は
ありませんもの
大丈夫ですよ
みなさんが帰ってくるまで
この子たちのお世話は
わたしがしてますから！
ニチャア…

ほら！
どうなの!?
コレぇ！
ずぼっ
ずぼっ
こんなふうに
なっちゃって！
ねえ？コレ
ウンコの穴
でしょーッ♪
ぐりん
ぐりん
ぐりん
あ…ぁ…!?
いやぁ…あ
気持ちよく
なってんの!?
ねえッ…
こんなことされて…
どうなっちゃうの!?
ビアンカはッ…
ズボ
ズボ
おっ…
おもちゃに
なっちゃう…
誰のおもちゃに
なっちゃうの!?
…言ってみて！
ねえ！
おもちゃに
なっちゃう!?
ピ…ピピンの
おもちゃに
なっちゃう！

よぉし…
完璧だ！
何度も何度も喋らせて
教え込んでやった甲斐が
あるってもんでしょ♪
ふふ…ピピンの
おもちゃになれて
興奮しちゃう？
…ねえ!?
こッ…興奮
しちゃう～ッ
ホラ！
教えてやった
台詞ぅ！
だったら
もっと何度も
言わないと！
ケツ穴に指入れられて
もうボクのおもちゃに
なっちゃったんでしょ!?
あ…あたし…
もうピピンの
おもちゃ…
そう！いい子だ！
何度も言って台詞を
脳に叩き込むッ…
わかったら
復唱～～ッ♪
さらに
でっかい声で
言ってみて！
あ…あたしッ…
もうピピンの
おもちゃあーッ♥

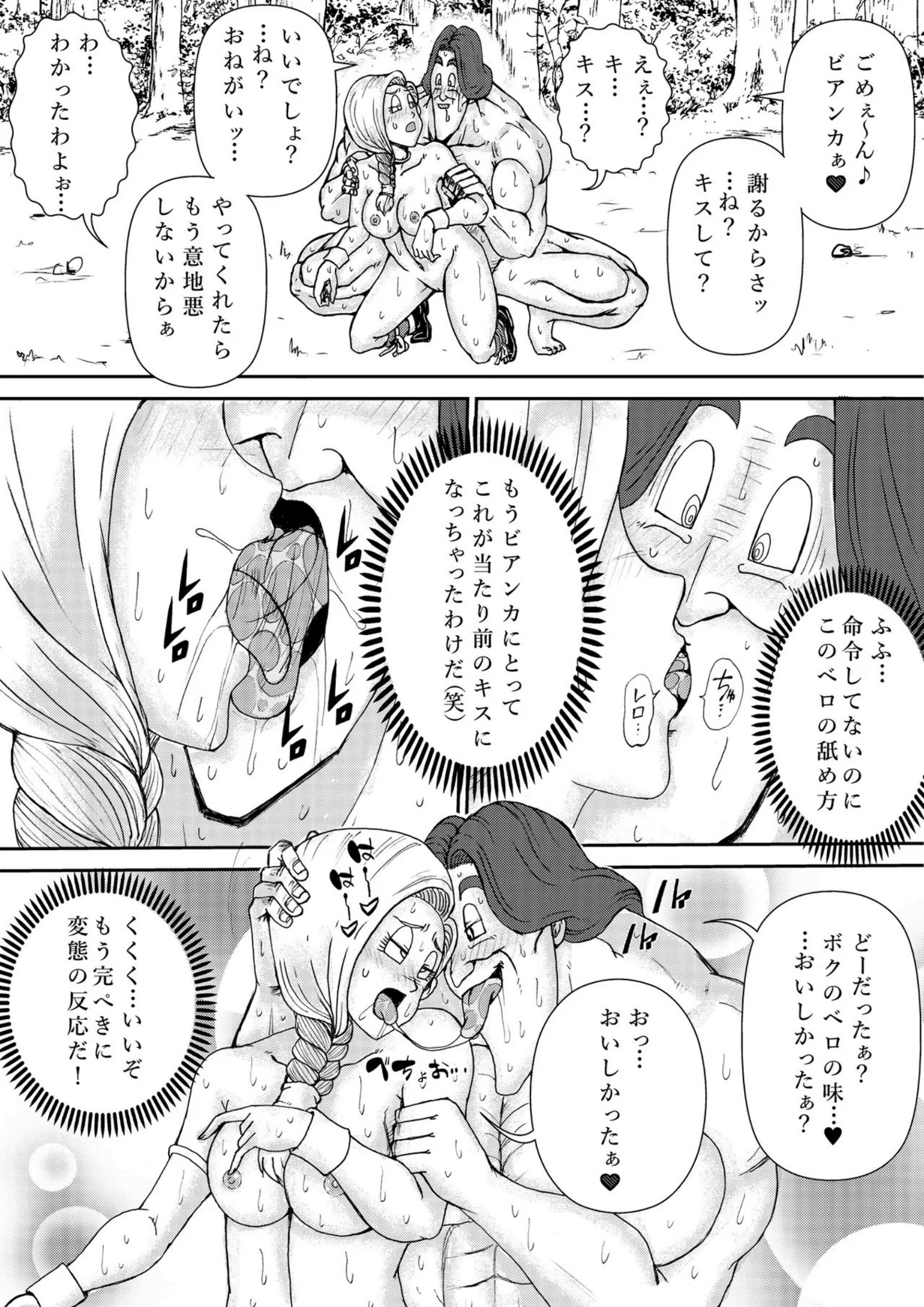
ミリッ・・・
ぬぷ…
よぉし…
イイ子だ
…それじゃあ
そろそろ指を一本
増やしてみようか？
…はっ!?
とろ〜ん♥
あっ…
すごいよッ
ビアンカ！
もう二本でも
余裕で入るように
なっちゃってるッ…
うぉ…!?
おぉ…お!?
ぬぷっ
ぬぷっ


この調子ならすぐに
チンコが入るように
なりそうだ！
アナルの拡張って
普通は一か月くらい
かかるらしいけど
ボクだったら数日で
ビアンカを完全に
仕上げられるから
ほ〜ら二本の指が
ウンコの穴ン中で
暴れちゃうぞ〜♪
んおおッ…!?
ぬぷっ
ぬぷっ
ぬぷっ
んおおおおーッ!?

それからあたしは
寝る間も惜しんで
徹底的にアナルを
調教され続けた
ペロッ
ペロッ
朝から晩まで
毎日まいにち
ピピンの
思うがままに―
あぁん!?
じゅぷ
じゃぷ
ほらあ！
どうなの!?
これぇえ！
いッ…
イイっ♥
そして
さらに数日が
経過した時には
…言ってみろぉ♪
それぇケツ穴が
イイ感じになって
きたッ…
ビクン
ビクン
ケ…ケツ穴が
イイ感じに
なってきたあッ♥
もうすでに
あたしの肉体は
完全に
取り返しのつかない
コトになっていた

そしてとうとう
あたしは―
ぬちゃっ
ほらぁああ！
どうなんだ!?
ビアンカぁ♥
ぬちゃっ ぬちゃっ
ふッ…んぅッ…!?
もっとやってえッ…
ピピィ…ン…♥
ぬちゃっ
ぬちゃっ
ビク ビク
ハァハァ
ぼぉ――～
ぬちゃっ
ぬちゃっ
ぬちゃっ
ぬちゃっ
ビクン♡
ビクン♡
はぁあんっ…!?
す…すごいッッ…♥
もうおしりの穴ぁ…
おかしくなるーッ…
ふふ…
かなりイイ感じに
仕上がってるな
よぉーしッ…
そろそろケツ穴に
チンコ入れてやるから
教えてやったとおりに
おねだりしてみて！
ぬちゃっ
ぬちゃっ
ぬちゃっ
えぇえっ…!?
お…おねだりって…
まさか本当にアレを
あたしが言うの…？

あたりまえでしょ！
いいから言われたようにおねだりすればいいんだ！
ほらッはやく言って！
も…もうっ…いつも強引なんだから…
それじゃあ一回だけだからね？
ね…ねえピピン…
あたしのケツ穴に…
そ…その…
チ…チンポコ入れて…
フフ
なにがケツ穴にチンポコ入れてだこの変態め…
ちょっ…!?あなたが言えって言ったんでしょ!?
カーッ
まるであたしの方が変態みたいな言い方しないでよ!?


ごめぇ〜ん♪
ビアンカぁ♥
謝るからさッ
…ね？
キスして？
えぇ…？
キ…
キス…？
いいでしょ？
…ね？
おねがいッ…
やってくれたら
もう意地悪
しないからぁ
わ…
わかったわよぉ…
ふふ…
命令してないのに
このベロの舐め方
ちゅ…
レロ…
もうビアンカにとって
これが当たり前のキスに
なっちゃったわけだ(笑)
レロ
レロ
レロ
どーだったぁ？
ボクのベロの味…♥
…おいしかったぁ？
おっ…
おいしかったぁ♥
ぐちょぉッ
くくく…いいぞ
もう完ぺきに
変態の反応だ！

ふふ…それじゃ気を取り直してアナルの交尾を始めようか！
ちょ…!?ちょっと待って！
…なに？どうしたの？
やっぱりあたし怖い…
まだそんなこと言ってるの？
大丈夫だって！ちゃんとやさしくしてあげるから！
ほら！いいからさっさとケツの穴こっちに向けて！
や…約束よ…？お願いだからやさしくして…
ぜ…絶対に痛くしないでよ…？
わかってるって♪
ふふどうせコレを受け入れた時点でもうビアンカはー
ん…
んっ…

カァー
カァー
カァー
……
…どうか
しましたか？
坊ちゃん？
…
…いや
なんだ？
今の胸さわぎ…？

…気のせいか
…何でもない
それより
チビたちが
心配だ
きっとビアンカたちも
必死でがんばってるよ
僕たちも
先を急ごう
はい
坊ちゃん

フハハハハーッ
チョー最高ぉおーッ
—完全にボクだけの
アナルマシーンと
化すんだからーッ
おぉ…おッッ…
うぉおおッ…!?
ねえ！ほら見てよ！
ビアンカのケツ穴に
ボクのチンコが
入っちゃってるッ…
フハハハハ！
獣みたいな声
出しちゃってーッ
そんなに気持ちイイの!?
ねえッ…興奮しちゃう!?
おぉ…!?
いままで
アベルさんは
教えてくれ
なかったの!?
…ねえ!?
こーいうのォ
んぉおーッ!?

よっしゃあ！
ケツ穴ン中に
精子注入するぞッ
最高にお似合いの
アナルカップルッ…
爆誕だーーーッ☆
自分の言葉で
今の状況を
解説しろーッ
ピ…ピピンと
ケツ穴で交尾
してるーッ
ソレーッ♪
これにて完成ーーーーッ…
ピピン×ビアンカあッ♥
ビクビク
ビクビク
あっはぁあああんッ…♥
さあ…おまえも
ピピン×ビアンカ
完成と言うんだ！
ぼぉ〜〜
ビクッ♡
ビクッ♡
あぁ…すごいッ…
ピピンの精子が
入ってきてる♥
ピピンかける
ビアンカ…
か…完成…♥

それからあたしは
さらにピピン好みの
ひょっとこビアンカに
再調教された
ひょっとこ
ビアンカァ！
ぐぽぐぽ
ん！
ん！
言葉に反応して
自動的にソレの
形になるように
徹底的に
躾けられた
はい…
あなた
たらー
ゴクゴクゴクゴクン…
いいか？
ジュースのように
飲むんだ！
…やってみろ！
そして―
ツバの飲み方を
レクチャーされ
ピピンのちんこで
取り返しがつかなく
なるまでアナルを
拡張された
パンパン
あぁん…♥

気づいた時にはもう―
どうだ！気持ちいいか!?…ビアンカ！
はッ…あ!?
あたしはすっかりアナルプレイに夢中になっていた
ね…ねえピピン…
そろそろ…その…いいでしょ？
…そろそろいいでしょって…なにが？(笑)
ちゃんと言わないと伝わらないぞ～♪
んぅう…!?
い…いじわるしないでよ…
は…早くちんこ入れて欲しいっ…

もう十分アナルに慣れてきたみたいだな…
…
だったらそろそろ―
…ちょっと中止ね
ぬぽん
えっ…!?
な…
なんで…?
も…もう…
お尻の交尾はしないの…?
…なに?
して欲しいの?
べ…別にそういうわけじゃ…
ちゃんとしてやるから安心しろって
でもその前に全身にツバ塗るから!
ここからは身体中ツバだらけにしてケツ穴交尾するぞ
好きっしょ?
ツバだらけにされるの♪
ぺろ?
…え?
かっ…身体中…ツバだらけ…!?
ゴクッ
そ…そんなことされたらあたしッ…
どぴゅん

くそ…
思った以上に
手ごわいな！
数も想定より
多いです！
ここを切り抜けたら
休憩にしよう！
それまであとすこし
踏ん張れ…サンチョ！
はい！
坊ちゃん！

あれぇ～？
なに？
その反応（笑）
もしかして
ツバだらけが
うれしいの？
ドキドキ
そ…
そんなわけ…
ないでしょ…!?
フフ…本当は
期待してる
くせに（笑）
べ…別に
期待なんて…
あっ…
あ…
ハァハァ
ホラ！いいから
こっちに来いって！
待ってろ…
すぐにイイ匂いに
してやるから…
たらー～…
あァん…!?

…え？
どカッ!!
はい～ッ♪
まずはカオ
から～ッ…
ぴちゃ
ぞくぞく
ぬるり…
何やってんのッ…!?
ピピン…!?
ぬる
ぬる
ぬる
ちょっ…と!?
なに…？
なに!?
あぁ…あ!?
イ…イイ♥
ヒク♡
ヒク♡
…なに？
今『イイ♥』って
言ったの？
…ねえ!?
はーー♡
べちょおっ
絶対に言ったよね!?
顔にツバ塗られて
『イイ♥』って言った！
うそでしょーッ!?
な…なんていう
ツバの塗り方
すんのよーッ…♥

ほ～ら♥
ビアンカぁ
だらぁ～
ぬりぬり
身体にも塗って
もっとベトベトに
してあげるぅ～♥
ヤ…ヤバい…
もっと塗ってぇ…
ピピィン…♥
フフ…これで
もう完全に
おもちゃだ♥
ぺろ…
ハァハァ
ぶくん♥
ぬるぬる
メルッ♥
ちょっとお…!?
こんなの駄目
だからーッ♥

ツバのニオイでコーフンしてる
あたし…
すんっ♥
すんっ♥
ぺとぉ…
ああッ…もう
どうなっても
いいッ…
びくん
びくんっ
もう完全に
おもちゃあ♥
ピピンの
つばでー
ばーっ♥
ばーっ♥
―新しい性癖に
目覚めるッッ♥

ほら！ケツ穴をこっちへ向けて犬の形になれ！
はァん♥
ぐっ
ふふ…こっからはアナル×ツバの匂いだ♪
さあ！ウンコの穴に入れるぞッ…ビアンカ♥
ぬぷ…
…あッ♥
ビンビン
いいかッ…交尾中もちゃんとツバの匂いで興奮しまくれッ…
ズル
んッ♥

ほらあ！
ツバの匂い嗅いで
いいなり人形に
なってみてーッ♪
はん!?
…なんだ？
このセリフが
気に入ったか!?
やッ…あ!?
フフ…
だったらこれで
どうだぁあーッ
ぱん
ぱん
ぱん
パン
パン
それぇえーッ
ツバの匂いで
いいなり人形ッ…
…言ってみろぉ！
いやァあぁん♥
よぉ～し…
今回イク時の
セリフは
ツバの匂いで
いいなり人形だ！
…わかったか!?
ビアンカ♥
あッはあ…!?
おっしゃあ！
どんどん教えるから
ピピンのとりこに
なってみてッ…
パン
はァん…!?
何ソレぇえ…
いいかまずは
ツバの匂いを
嗅ぎまくれ！
かッ…嗅いでる
からぁあッ…♥

ほらッ…いいから
もっとツバの匂い
嗅ぎまくれって！
あッ…!?
はァん♥
ずしっ…
そんでもって
ツバの匂いに興奮して
どんどんヘンな気分に
なってっちゃえーッ♪
やッは!?
つ…つばの…
にお…いッ!?
そうッ…
ツバの匂いだ♪
もっと
言ってッ♥
ビチャ
ビチャ
ビチャ
ビチャ
あッはぁあん…!?
つばの匂ぃいッ…
よしッ…いいぞ！
ツバの匂いで
こーふんッ…
ちゃんと匂い
嗅ぎながら
言ってみて！
やッあ…!?
ヘッ…ヘンに
なっちゃうーッ!?
も…もう射精で
ちゃいそうだッ…
スタンバァイ！
ボクの精子が入ったら
最初に教えといた言葉を
大声で叫ぶんだぞッ…!?
…え？
な…なんて
言うんだっけ？
はーっ♡
ぼおーっ
ごくん…

だ…ダメだ!?
射精ちゃうッッ♥
気持ちイイッ…
は…はい！
イイ匂いッ…
イイ匂い～ッ
そうッ…
もっとぉ！
も…もういいから
適当にイイ匂いって
連呼だけしてろッ…
ひくんっ
びくんっ
ビクビク
ビクン
ビクン
そうだッ…いいぞ！
エロいッッ…
もっとイイ匂いって
言いまくってーッ♥
あぁんッ!?
…イイ匂いッッ
ピピンのつばッ…
イイ匂いーッッ♥
フーッ…フーッ…
まあエロかったから
今回はいいけど…
いいか…？次からは
夫に躾けられたモノは
キチンとその頭ン中に
叩き込んどけッ…
とろん♥
はーい♥
はーい♥
ビクン
ビクン
は…はい…
あなたァ♥
こ…こんなの
アベルにはされたことない…
よぉし！このまま
抜かずに続投だぁ
もっと教えて
やるからッ…
ビクッ…
ビクッ…
もうおまえは
ボクのツバの匂いを
嗅ぎながら
イイ匂いって言って
興奮だけしていれば
いいんだッ…
ビクッ！
ビクッ！
ビクッ！
ビクッ！
はァん…!?
ピピィン♥

およそ十年前―
グランバニア王国
ボク大きくなったら
絶対に兵士になって
この国を守るんだ！
まあ！
頼もしい
!?
ナデナデ
ビクン
だったらもう
この国は安泰ね
キミならきっと
グランバニアの
勇者になれるわ
…
ドキ
ドキ
それじゃ
あたしたち
もう行くね
キミの成長
楽しみに
してるから
バイバイ！
未来の勇者様
ボーー…

あれから約十年——
こうなる日のことを
ボクがどれだけ
待ち望んだことか
ハアッ…ハアッ…
最高の味だったよ
…ビアンカ♥
ぴくん
ぴくんっ
あぁ…あ…
イイ匂い…
イイ匂い…
フフ…
すっかり口癖に
なっちゃって(笑)
ほら 立てって!
まだ舐め終わって
ないだろッ…
はァ…ん!?
今から説明するけど
これはボクからの
プレゼントだからッ
ぼぉ——〜
ぐっ
あ…
そう…
結婚記念日
の…ね♪
レロォ…
んぅ♥

思えば旅にでるまえ
あの夫婦ごっこから
もうボクらの物語(ストーリー)は
動き出していたんだ
気づいた時には
もうボクらは本物の
夫婦になっていた…
だから今日を
ボクらの結婚
記念日として
ボクはキミに
プレゼントを
贈るんだよ…
え…？
実は香水をプレゼント
しようと思ってたんだ
でもビアンカに
似合う香水が
見つからなくてね
そこで
ボクは閃いた！
そうだ！ボクにしか
プレゼントできない
ボク特性の香水がある
じゃないか…ってね♪
ふふ…そこらに売ってる
市販の香水なんかより
ずっとイイ匂いでしょ♥
ほぉら！このからだ
うんと舐めたくって
ボクの香水をたくさん
付けてやるからーッ♥
いッやぁああ
あぁあん…!?
ぺとぉお…
はーはー
ぼぉ〜
レロ♡
レロ♡
ぴゅっ
べろぉ〜
3

ビアンカ様にプレゼントを渡し損ねた？
ああ結婚記念日に渡すつもりだったやつなんだけど…

何をプレゼントするつもりだったんです？
香水とチョーカー
香水はあいつにぴったりの香りだしチョーカーも絶対に似合うと思うんだ
まあ…さすがにもう機嫌も直ってるだろうから帰ったら渡そうと思ってるよ

楽しみですなきっとよろこんでくださいますよ
ああありがとうサンチョ
それにしてもいつの間に用意したんですか？
私ぜんぜん気づきませんでしたよ…
そりゃ誰にも言ってないからな…
あぁ……でもピピンが記念日に何を贈るのか知りたいって言うからあいつには教えたけど

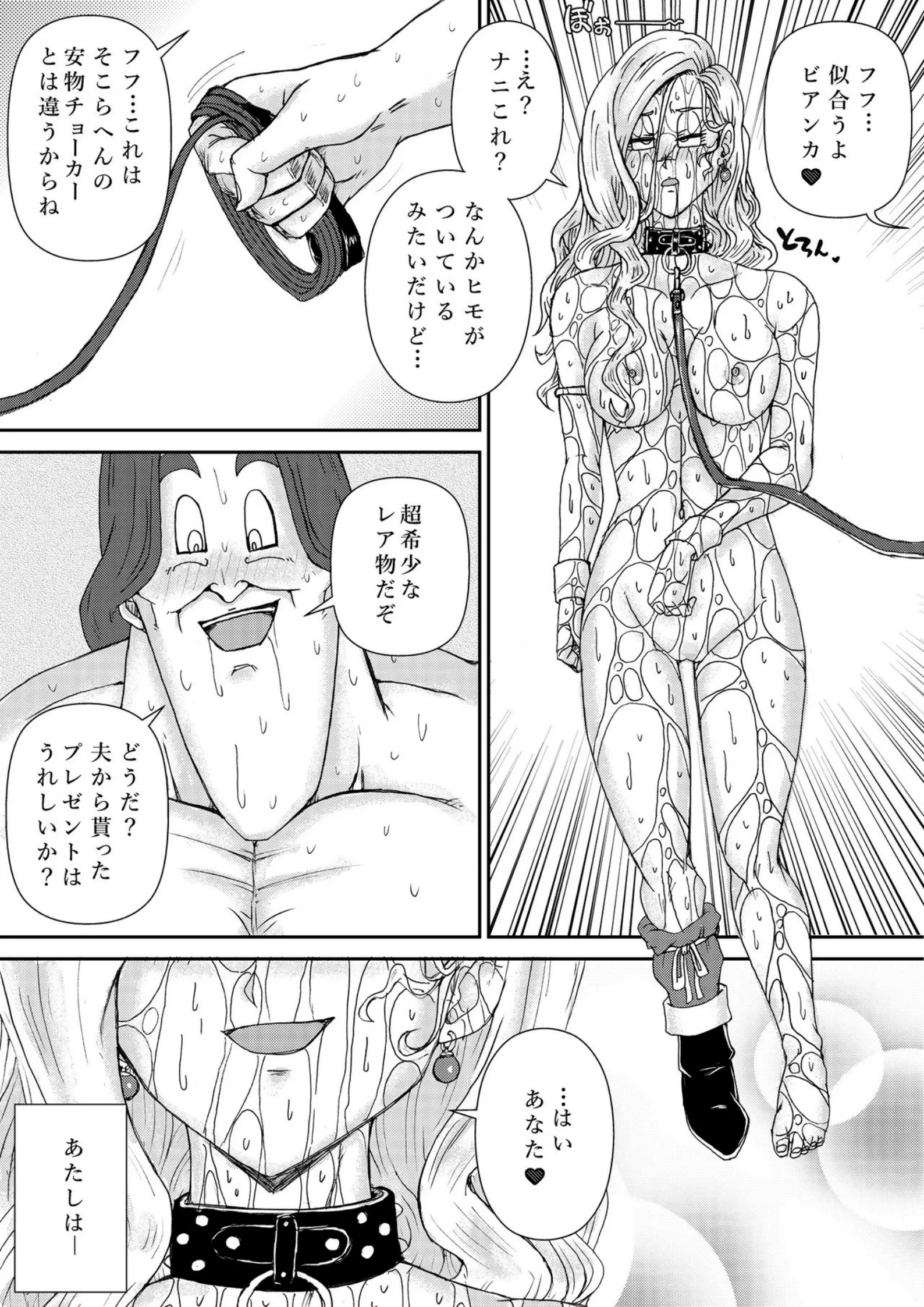
フフ…
もうすっかり
気に入っちゃった
ようだねッ…
ボクの香水♥
…
それにしても…
なんてエロい味の
カラダなんだ…
匂いも
いやらしい…

ホラどうなの!?
ボク特性の
香水の匂いは!?
あぁん…!?
イ…イイ♥
ぴくん
ぴくん
もっと舐めて
…ピピン♥

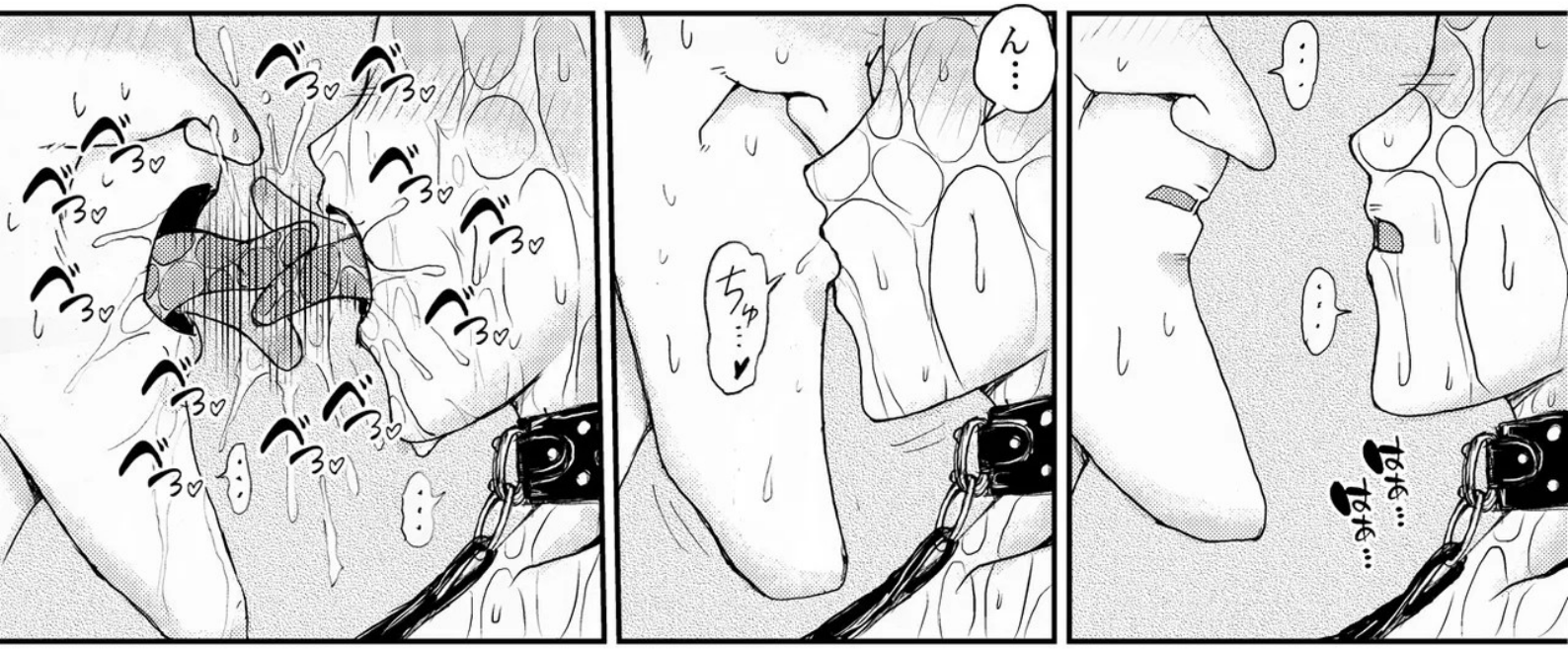
どうなの!?
…ねえッ
この匂い♥
…エロい？
ピピンの香水
エロいのッ…!?
んッふぅ…ん♥
エ…エロいッ…
よっしゃ！
もっと大声で
解説してッ♪
はぁん…!?
あ…あたしッ…
ピピンのせいで
全身エロイ匂いに
なっちゃうーッ♥
フフ…
その調子だ♪
ビアンカ♥
もっと自分で自分の
肉体にツバを塗って
興奮するんだッ…
ぺろ…
ぬりぬりぬりぬりぬりぬり
くちゅくちゅくちゅくちゅくちゅくちゅ
びくんびくんっ
ぱぉ——
あぁ…あ…
イイ匂い♥
…興奮する
もっと…
ヘンにして…
すーっすーっ
ヒクヒク♡
ニオイでコーフンしてる♡
ヒロインのツバ吸いつづける♡
あ…あたし…もう…
ピピンのとりこに
なっちゃいそう…♥

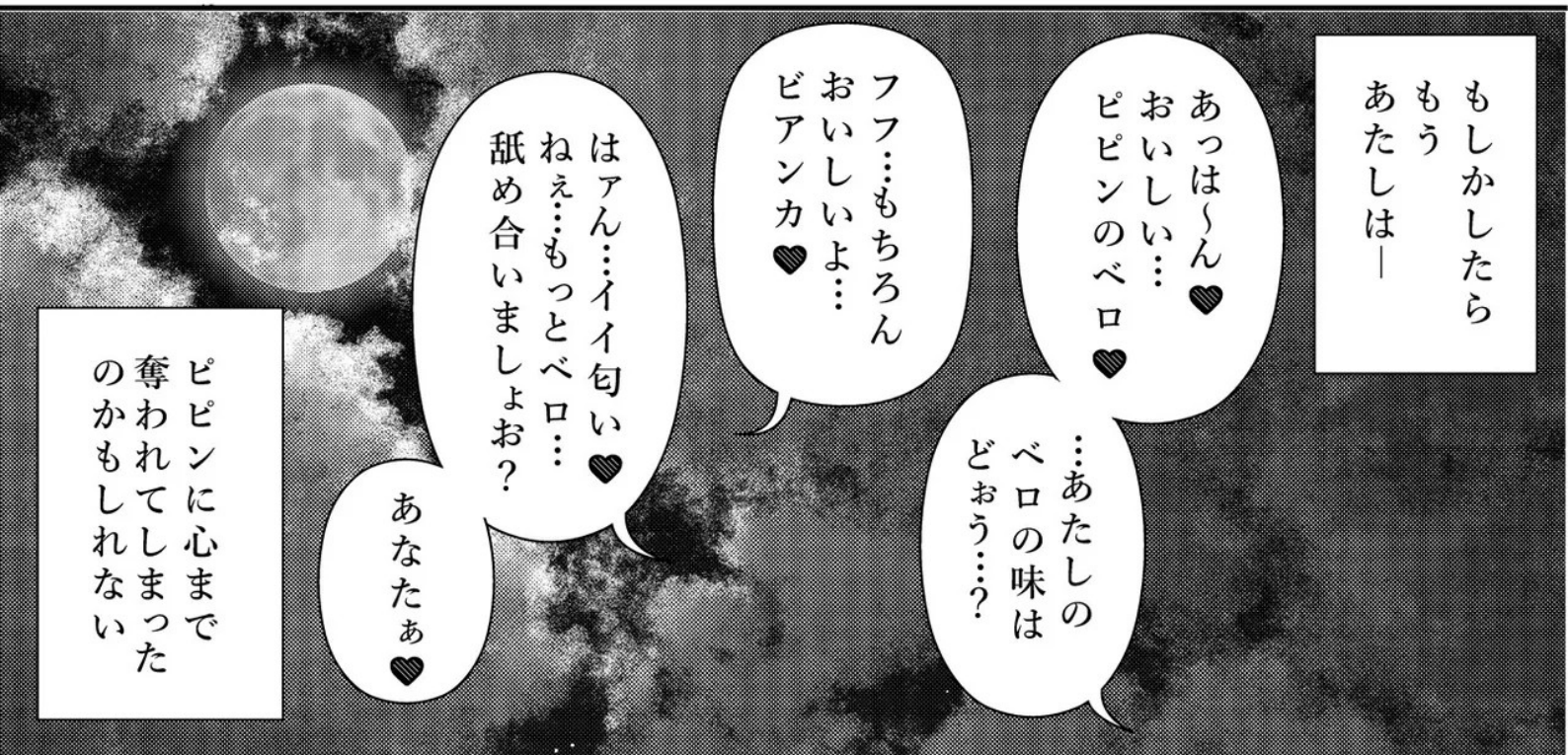
調教ビアンカⅢ

そうそう…
実はもうひとつプレゼントがあるんだ♪
…もうひとつ？
今度はなぁに？
フフ…なにを隠そうチョーカーなんだけどさぁ
絶対おまえに似合うと思うんだよね！
そう…なの？
ああ！
受け取ってくれるかい？
え…ええ…もちろん…
さ…♪ それじゃあ付けてあげるから目を瞑ってごらん
す
…え？
あ…はい…
カチャカチャ


フフ…
似合うよ
ビアンカ♥
ぼぉ～
とろん♥
…え？
ナニこれ？
なんかヒモが
ついている
みたいだけど…
フフ…これは
そこらへんの
安物チョーカー
とは違うからね
超希少な
レア物だぞ
どうだ？
夫から貰った
プレゼントは
うれしいか？
…はい
あなた♥
あたしは―

—いつのまにか
完全にアベルを
忘れさって
ピピンのことで
頭の中がいっぱいに
なっていた


ん…
ちゅ…
はぁ…はぁ…


もしかしたら
もう
あたしは—
あっは〜ん♥
おいしい…
ピピンのベロ♥
…あたしの
ベロの味は
どぉう…？
フフ…もちろん
おいしいよ…
ビアンカ♥
はァん…イイ匂い♥
ねぇ…もっとベロ…
舐め合いましょお？
あなたぁ♥
ピピンに心まで
奪われてしまった
のかもしれない

ちょうきょう
調教ビアンカⅢ